

コミュニティ支援員配置事業【被災者支援交付金事業】

◎概要

震災から一定年度が経過し、仮設住宅等から復興住宅への移行が完了し、これまでの見守り活動に加え、被災者の自主的な社会参加の支援と環境づくりが必要となっています。

本事業は、当館にコミュニティ支援員（1名）が配置されており、復興住宅入居者等の被災世帯に対して、地域の実情に合わせたコミュニティサロンや交流会を企画開催、各地区で開催されるコミュニティ活動の情報提供を行うことで、被災者の自主的な社会参加を促し、孤立や閉じこもりの防止に努めるとともに、被災者の心身の復興に取り組む支援を行う。

◎活動内容

次の一覧先に当館に所属するコミュニティ支援員が支援活動を行い、活動終了後、随時活動報告をしている。なお、活動内容により住民が自主活動することもあるほか、諸事情等により開催時期等を変更する場合もある。

地区	名称	開催時期	内容
箱崎白浜地区	白浜すいすい会	毎月第1・第3水曜日 午前	高齢者フレール予防、 地域交流
日向地区	日向おさんぽの会	毎週火曜日 午前	高齢者健康促進、清掃 活動、地域交流
鵜住居地区	復興住宅ひまわり会	毎月第2・第4木曜日 午前	復興住宅と地域住民 との交流
仮宿地区	仮宿ひだまり会	毎月第2・第4水曜日 午前	地域主導による交流
鵜住居復興住宅	菜園サロン	毎月1回程度 午前	花や野菜づくりを通 じての交流イベント



※鵜住居地区『復興住宅ひまわり会』開催風景